

かわさき 議会の情報

No.208

発行日／平成29年10月31日
発行／川崎町議会
編集／議会広聴・広報委員会



「川崎べこ太郎」

いなほ
「稲穂のじゅうたんで」

18P

議員定数等調査特別委員会
議論はじまる

17P

議発案
森林環境税創設に向けて

8P

町政を問う
安心安全と交流人口増加へ

4P

要望決議
さらなる収納率向上を



病院経営改善傾向 待遇労働環境改革を

水道事業会計
2億6916万円

公共下水道事業特別会計
3億7188万円

病院事業会計
8億585万円

温泉事業特別会計
1107万円

H28 決算 一般会計 特別会計 84億

介護保険特別会計
10億155万円

後期高齢者医療保険
特別会計
7874万円

国民健康保険特別会計
10億7624万円

国保決算額は減少
国保税と給付額バランスは

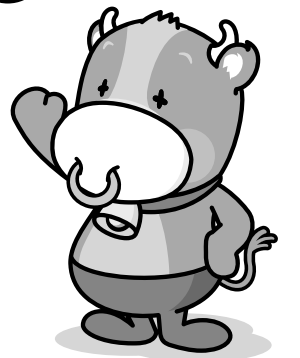
社会保障費割合増加
滞納処理進まず

市町村合同公売会 in 名取
市町村が税金の滞納者から差し押さえた動産を売却します。
滞りなく売却しますので、ぜひご参加ください。
平成28年1月16日(土) 入場無料
10時～12時 入場 無料
12時～15時 入場 無料
15時～18時 入場 無料
会場 名取市文化会館(名取市増田字柳田520)
必要なもの
①購入代金之印鑑(身分証明書を代理で入札する場合は委任状)
●お問い合わせ
宮城県税務課
電話022-211-2326
宮城県地方税徴収課
電話022-211-6681
宮城県市町村合同公売会 会場

宮城県・市町村

9月
会議

9月会議は、9月12日から22日までの会
期で開きました。
平成28年度一般会計・特別会計・企業会計
の8会計について決算審査特別委員会を設
置し、集中審議の結果、すべての会計を原案
どおり認定しました。



一般会計48億6765万円

8214万円も
不用額2億4100万円

町税収入増も今後不安
収納改善率トップも最下位
自主財源割合29.3%

交付税 1億9700万円減
基金残高 25億8330万円
地方債(借金) 19億760万円

決算の特徴

歳入・歳出とも減少

歳入は前年度比1・7%減となっています。減少が大きい科目は地方交付税です。

一方、歳入で主に増加した科目は繰入金で、北川原山町営住宅建築やスズラン型街路灯LED化（繰り越し）、町民バス運行事業によるものです。

歳出は前年度比0・1%の減。仙南クリーセンター建設負担金

の減少と、蔵王山火山活動の活性化に伴う放送設備整備事業の完了によるものです。

公債費が一転増加

また、平成20年度をピークに減少が続いた公債費が増加に転じた。臨時財政対策債の残高増や大規模災害対応のための緊急防災・減災事業債、学校のトイレ改修に伴う事業債など地方債残高の

増加によるものです。

経常収支比率が悪化

経常収支比率は91・9%で前年比4・3%の悪化。平成27年度国勢調査に伴った人口減少、普通交付税等の経費一般財源が減少したことが要因。町税などの自主財源の確保と経常的経費の抑制を図る必要があります。

さらに努力を

監査委員から意見書提出 自主財源確保



監査意見

収納率、県平均目指せ

一般会計における歳入は、町税が滞納者への徴収取り組みと軽自動車税の税制改正により、前年度比542万円（0・6%増）となりました。徴収率は91・8%と1・8%向上しました。

収納率向上の努力の結果と考えられ、改善率は県内第1位となりました。県平均徴収率

96・7%を目標に取り組んでください。

引き続き徴収強化を

収入未済額は年々改善されているものの、会計で1億3366万円となっています。引き続き徴収対策の強化による自主財源確保に努力してください。

健全財政、長期視野で

特別会計及び企業会計は経営状況を分析し、各種会計が長期的視点で健全な財政運営を進められるよう努めてく

ださい。

特に病院事業会計は赤字額が減少しており、今後とも安定した経営のために、安全で適切な医療を提供できるよう講じてください。

多額執行残出さぬよう

歳出予算の執行残額に関して、記載内容が十分と思われる部分があったので善処してください。予算編成において十分に検討し、多額な執行残が生じないよう努めてください。

1 収納率向上 新たな策を

町税並びに使用料の収納率向上は、財源確保と税負担の公平性から、現行徴収対応に加えて新たな徴収策を検討してください。

2 詳細な積み上げ 不用額を減らせ

多くの不用額を発生させないように、予算の精査は詳細かつ具体的な積算を行ってください。また、実績に応じた予算措置ではなく、あくまで事業規模に沿った配分としてください。

3 医療費抑制 健康づくりで

町民の健康づくりに応じた事業として、病気にならないような予防策と健（検）診事業をさらに推進してください。また、医療費抑制の点で、乳幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした、きめ細やかな事業を検討してください。

要望

決議

4 鳥獣対策 十分な予算を

農業生産意欲が減少しないよう、有害鳥獣対策は周知と補助事業に十分な予算措置をしてください。

5 国保県単位化に 周知と理解を

国民健康保険特別会計が平成30年度に県単位化になるので、制度改正に向けた体制づくりと、町民への周知と理解を十分に図ってください。

6 医療拠点で 経営改善と信頼

病院経営は「地域医療連携業務」の推進などで改善傾向にあるが、利用者（町民）から信頼される医療機関となるよう体制の強化に努めてください。

有事の際の対応は

眞幡委員

問 Jアラート（瞬時警報システム）により、国民にとまどいがありました。有事の際、どう対応すれば良いか、町でも示す必要があると思いますが、

答 国の運用目的はテロ対応のためとなっており、自治体間では、対応設備が進んでいない状況ですが、検討し周知を進めていきます。

町民バス路線の見直しを

大沼委員

問 高齢者より町民バスの停留所が遠いとの声がありますが、見直しの考えはありますか。

町 長
答 町民のニーズに合わせて、町民バス運営審議会の答申をもとにルートの見直し、検討を図ります。

ニーズに合った事業展開を

神崎委員

問 自主財源も3割弱、人口減少にともない財政は厳しい状況です。町民のニーズに合った事業展開をすべきと考えますが、

町 長
答 各課で問題意識をもって取り組んでいきます。

町民への周知と理解を

高橋委員

問 国民健康保険は、平成30年に単年度化となりますが、町の対応はどうなりますか。

答 県の試算を待っての対応となります。試算が示されたら、速やかに周知、理解に努めます。

不用額が多い十分な積算を

石野委員

問 不用額が多くなっています。その額をほかの計画予算にまわす考えはありますか。

町 長
答 予算編成時も積算された内容を精査し、経費抑制などを図りつつ、慎重に対応します。

決算 応答 紹介

H28 質疑 一部

さらなる健診事業を

眞幡委員

問 医療費抑制の観点から、さらなる健診事業の充実と予防対策に力を入れるべきと思いますが、

答 国保川崎病院と協議し、個別健診など受診しやすい体制づくりを進めます。「長寿で健康に」を目指すため、これまで以上に力を入れていきます。

負債を少なく次世代へ

沼田委員

問 町の負債（借金）残高も年々減ってきていますが、人口減少にともない税収、交付金も減少するものと考えます。負債を少なくして次世代へ継承すべきと考えますが、

町 長
答 やるべきことはしっかりやって、負債を少なくバトンタッチしたいと思っています。

支倉地区の河川改修を

神崎委員

問 支倉地区にある支倉川は、上流がほ場整備により改修されています。下流は蛇行しているため土砂が堆積しています。水害予防のために、水害に対応すべきと思いますが、

建設水道課長
答 県へ再三要望してきましたが、河川改修は厳しいです。県と協議し土砂撤去など町でできることで対応したいと考えます。

信頼される医療機関に

神崎委員

問 病院経営で「地域医療連携業務」の充実を図るため、副院長2人体制をとりましたが、課題及び改革の考えはありますか。

副院長2人体制に
答 副院長2人体制になって、それぞれ医療業務と地域連携業務を分担し、スムーズに進んでいます。今後、職員の意識改革をさらに図るよう努めます。

税徴収率向上を

佐藤（新）委員

問 税金の滞納徴収は、管理職による夜間訪問で向上していますが、税務課職員全員で行えば、さらに向上すると思いますが、

副町長
答 税務課職員全員での考えはありません。これまでどおり管理職を中心に夜間訪問し、徴収率向上に努めます。

鳥獣対策に十分な予算を

沼田委員

問 農業生産意欲がなくならないように、有害鳥獣対策に十分な予算が必要と思いますが、

農林課長
答 補助事業を活用し、駆除隊の増員や電気柵等設置拡大に力を入れていきます。

成果 効果 今後の 議会が は？ は？ 対応は？ 質す！！



町政を問う

7人の議員が質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

- ◆ 佐藤 昭光 議員 9
(1) 人口減少対策に歯止めを
- ◆ 高橋 義則 議員 10
(1) 長雨による被害に支援を
(2) 国民健康保険の県単位化は
- ◆ 眞幡 善次 議員 11
(1) 高齢者の健康増進を図れ
- ◆ 遠藤 美津子 議員 12
(1) 就学援助・入学前支援を
(2) 安全でおいしい水を
- ◆ 大沼 大名 議員 13
(1) 学芸員の採用を
(2) 町民バス利用者の声に
- ◆ 神崎 安弘 議員 14
(1) 区分に矛盾
(2) 森林資源活用を
- ◆ 的場 要 議員 15
(1) 安心安全と交流人口増加へ

問

人口急減に抜本策はないか

答

成果出すには時間がかかる

川崎町の人口が今年3月、9000人を割ってしまいました。当町の人口が8000人台というのは、戦後72年で初めてのことです。今後も変わらないペースで減少が続くとみられ、大変な危機感を持っています。



▲こどもは宝

問 町の創生戦略の実効性に疑問を感じます。どの程度だと予測、期待しているのか伺います。

答 町長
他の自治体に負けないうアイディアで国の助成金を勝ち取るよう、職員の見識改革が必要だと感じています。

問 柴田郡4町でこの5年間を比べると、大河原と柴田がほぼ横ばい、村田が当町の半分の減り方です。他自治体と比べて、なぜ当町の人口減が大きいのか、見解を伺います。

答 町長
教育の高度化で、若者が都会へ、海外へと出て行ってしまうのが一番大きいと思います。

問 町民が「これなら」と納得して協力できる施策を打ち出す考えはありませんか。

答 町長
財政を無視したのではなんにもありません。議会と相談していきま

問 議会と相談するだけでなく、民間の知恵を生かした、もっと大きな枠組みが、今こそ必要なのではありませんか。

答 町長
考える時間をください。

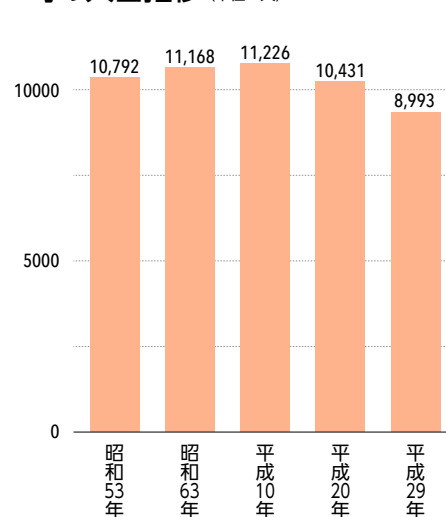


佐藤 昭光 議員

問 人口減少に歯止めをかける、強力な施策は何なのか、またその見通しについて伺います。

答 町長
出生率を上げ、転入者を増やし、転出者を減らすことにつきますが、成果が見えるまでには相当な時間を要します。

町の人口推移 (単位：人)





高橋 義則 議員

過去最高の長雨による被害は

現段階で判断は難しい

問 7月22日より8月下旬まで連続して雨が降り続けました。過去最高の日数と報道されていますが、当町では特に被害が多かったのではないかと思います。

答 長雨により日照不足、低温が続きましたが、農作物の被害はどの程度ですか。



▲豊作を願って

問 7月中旬まで天候が良好だったことで、農政局から発表された作物概況は「やや良」と報道されています。しかし、今後作況指数や天候に注意していかなくてはならないと思っています。

答 農林課長
刈り取りが進めば状況が見えてくるものと思っています。その後、町長と相談しながら判断していきます。

答

今年の12月に確定

平成30年から国保は県が財政の運営責任を担うようになります。医療費適正化計画による、仕組みづくりが行われます。

問 ※法定外繰り入れがなくなれば負担増になります。今後どうなりますか。

答 町長
県より指導があり、法定外繰り入れは改善し、財政基金を積み立てるようになります。

問 ※国保税は現在より負担増になるのではないですか。また、県から公表を止められてはいませんか。

答 町長
国及び県が、新制度に向け試算して12月に納付金額を確定するように進めており、今のところ情報は入っていません。

問 減免制度を維持すべきと思いますが。

答 保健福祉課長
国民健康保険制度で減免制度が施行されています。7割・5割・2割軽減の減免措置を行っています。今後も継続します。

※国保税…国民健康保険税の略で、国保は市町村によって「保険税」と「保険料」の場合に分かれています。国保の運営者(市町村)で決められています。

※法定外繰り入れ…法定内と法定外があり、法定内は法律などで項目が規定されているもので、法定外は特別会計などの不足分を一般会計で補うものです。

問

健康増進を図る予算付けを

答

各種事業を活用し

町では、すでにデータヘルス計画の推進を図り、長寿・健康増進事業を行っています。が、財源不足のためまだまだ不十分です。病気にかからず元氣な老後が送れるよう、日ごろからの対策が必要です。



▲データヘルス計画の手引き

問 国では長寿・健康増進事業に対し、さまざまな助成制度を行っています。町はこのような制度をもっと活用すべきと思いますが、どのように取り組んでいるのか伺います。

答 町長
高齢になっても健康で元氣な暮らしができることを目指して、さまざまな支援を行っています。

問 健康増進のために行っている各種スポーツには、ある程度の予算をつけて推進する必要があります。助成金制度を最大限活用して町民の健康増進を図る必要があります。見解を伺います。

答 町長
国や県の制度があれば何でも利用して、積極的にかわつていきたいと思っています。

問 健康で元氣な体力をつけることが、町民にとっては大切なことです。そのためには、各種助成金や町の予算を積極的に投入すべきではないかと思っています。

答 町長
今後も補助金や助成金事業を有効的に活用できるように検討していきます。アンテナを立てていろいろな工夫し、バランスをとってきたいと思っています。



▲健康なからだは笑顔がたえない

眞幡 善次 議員



遠藤 美津子 議員

問 入学前支給を

答 準備を進める

問 文科省は就学援助支給対象者へ入学用品費の支援を増額、新たに就学予定者を加えまして。当町の現状を把握し準備を進めるべきでは。

答 教育長
来年入学する小中学生の保護者の経済的負担軽減につなげるため、援助金の支給を前倒して進めます。

問 子どもの貧困問題が大きく取り上げられています。公平な教育環境を整えるついでに、予算措置要綱の改正などの考えはありますか。

答 教育長
当面は、前倒し支給に係る調査、準要保護家庭数の調査を進めよう対応し進めていきたいと思います。



▲早めの対応を

水道事業は施設設備等の老朽化、耐震化対応等の投資需要が増加しているところです。現状と将来の見通しについて伺います。

問 水道管更新率及び耐震化率は

答 町長
平成23年より計画的に耐震管入れ替え・更新工事を進めています。更新率は本年度末で約80%の見込みで、平成32年度には全ての石綿セメント管が更新される予定です。



▲水道管更新

問 技術職員の育成について伺います。

答 町長
2名の技術員を配置しています。日ごろの施設管理のほか突発的な漏水や断水に対応するためにも、職員の育成と技術力の継承は必要不可欠と考えています。

問 広域連携の推進について伺います。

答 町長
現在、県が中心となつて広域化に向けた検討会を開催しています。町も3市9町で構成する仙南市町水道事業連絡会に参加しています。

将来的に修繕費用を抑制しながら、収支均衡のとれた経営を目指し取り組んでいきます。

問 安全でおいしい水の供給は

答 計画に基づき取り組んでいる

問 学芸員の採用を

答 町の規模で必要か検討

「蔵王山」の読み方について、宮城県側では「ぞおうざん」との報道がありました。当町は、蔵王連峰の山々が全て見える唯一の所です。

答 町長
現在、確認できる文書は、昭和45年国土地理院の境界証明書です。刈田岳から、もしかか温泉の間が境界未定と記載されています。時期は確認できません。

問 蔵王山の呼び方はどうなっていますか。

答 町長
昭和6年、宮城県側の川崎村長、宮村長、山形県側の2つの村で、国土地理院に「ざおうざん」と登録しました。歴史を考えると、簡単に呼び方は変えられません。

問 当町には、山城もたくさんあります。今後、まちおこしや交流人口を増やしていく視点からも、学芸員の採用は大きな財産になると考えますが。

答 町長
山城は10カ所ありますが、当町の規模で学芸員が必要かどうか検討します。

問 町民バス停は変更要望の声があります。問題点や変更の声をくみ取っていく必要があると考えますが。

答 町長
運行開始から16年が経過し、運行体制が定着していると考えています。年に数件変更要望はありますが、道路の形状などで変更できないことがあります。



▲バス変更案内チラシ

問 交通弱者が増えるなか、バス停問題の対策はどのようにしていますか。また、運用方法の見直しも必要なのではないかと考えますがいかがでしょうか。

答 町長
バス停への要望は、利用状況や路線全体の影響等を考慮し、各行政区長が務めている。町民バス運営審議会に諮り対応しています。要望があれば審議会と意見交換したり、新たに検討の場を設けたいと思います。



大沼 大名 議員



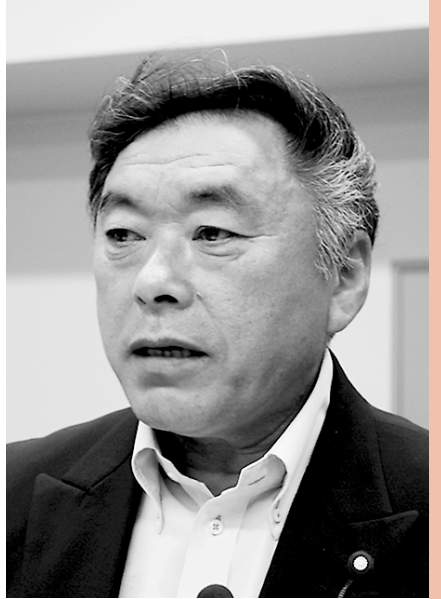
▲地区住民で下刈りした前川本城跡

問 利用者の声反映を

答 改めて検討が必要



議員 要 場 的



議員 安弘 神崎

問

地域区分に矛盾

答

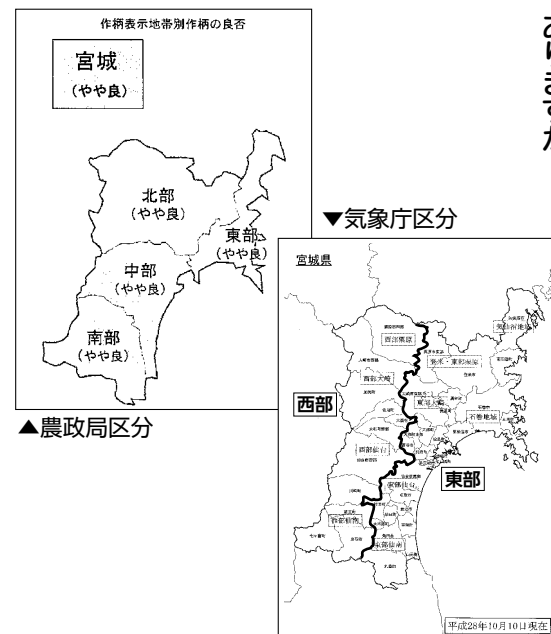
要望に向け調査・検討

今年は、7月下旬から36日間にわたり、長雨、日照不足で農作物への影響が心配されています。そこで次の点について伺います。

問 現状の作柄をどのように把握していますか。

答 町長

8月末までの水稲作柄は「やや良」です。9月の天候が左右することから、現時点での判断は困難です。



問 振興作物の玉ねぎ、ブロッコリー、葉菜類の対策は考えていますか。

答 町長

玉ねぎは収穫済みです。ブロッコリー等は生育不良や病害虫の多発状況にありますので、関係機関と連携し巡回指導を強化しています。また、ハウス栽培へ誘導しています。

問 認定農業者、担い手への支援策及び対策本部立ち上げの考えはありますか。

答 町長 現段階では考えていません。今後、状況を把握しながら判断します。

問 農政局の作柄状況区分と気象庁が区分している西部・東部など、地域区分に矛盾があります。国・県へ変更を要望する考えはありますか。

答 町長 当町は、面積の約80%が森林です。今後の活用方針について伺います。

問

町産材利用を

答

公共施設利用を検討

問 公共施設建て替え等に利用する考えはありますか。

答 町長

町営住宅建設に町産材利用を試みましたが、病害などの問題により使用まで至りませんでした。これからも公共施設への利用を検討していきます。

問 利用を促進するための方策はありますか。

答 町長

支倉清水向地区の住宅分譲購入者に対し、最大100万円の補助制度がありますが一般住宅へはありません。独自補助制度は、県内でも3市町しかないことから検討したいと思っています。

問

安心安全へ防犯カメラ設置を！

答

職員を派遣し調査したい

人口減少が進む町にとって、さらなる交流人口増加のために、安心安全なまちづくりも大変重要になってくるものと考えます。今回は、これまで積極的に整備されてこなかった防犯カメラについて提案させていただきます。

問 今回提案する事業は、自治体などが自動販売機設置場所を提供し、推進機構が自動販売機設置、防犯カメラ導入、維持管理を担っていくものです。犯罪への抑止力、防犯意識の高い安心安全な町というアピールにもなると考えますが。

答 町長

平成29年2月には防犯カメラの設置及び運用に関するガイドラインを宮城県が作成するなど、近年注目されています。まずは先進市町での導入経緯や運用状況を確認し、検討したいと思います。

問 この事業がすばらしいところは、町の持ち出しがなく無料で設置できることです。東北地区では、白石市が導入していますので、視察してみたいかがでしょうか。

答 町長

県内35市町村の中でも、23の市町村がいろいろな形で導入しているようです。担当の職員を派遣し、どのような手続が必要なのか勉強して導入に向けて進めていきたいと思っています。

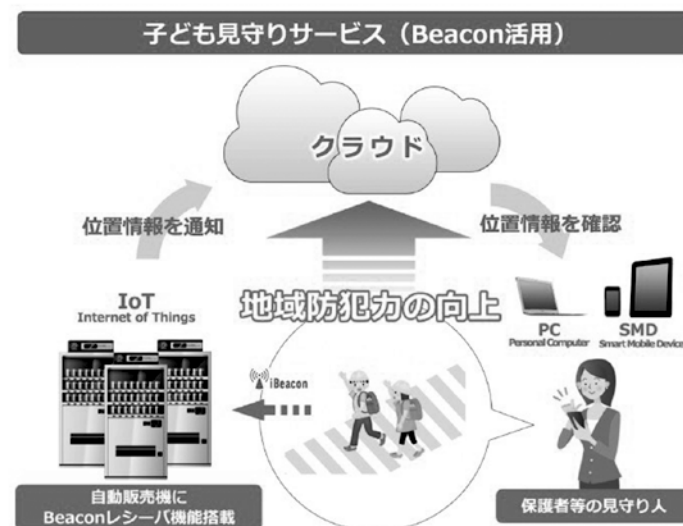


▲白石市に設置された防犯カメラ

問 今後、インバウンドを推進するために、アウトバウンドも同時に進めていかなければなりません。町が防犯に対しても意識を高く持つて、安心安全ですからどうぞ来てくだいという情報発信も必要ではないでしょうか。

答 町長

多くの皆さんの努力をいただいて、安心安全が守られています。やるべきことは何でもやって、安全や治安をしっかりとしていくことは、まちづくりの基本になります。勉強して導入に向けて進んでいきたいと思っています。



▲「安心安全まちづくりICT推進機構」のシステム

9月会議

9月会議は、決算認定のほか町から提案された議案11件。議員発議案件2件を審議し、すべて可決しました。
ここではその一部を紹介します。



一般会計補正521万円増額

■提案理由

支倉常長まつりで使用している「サン・ファン・バウティスタ号」老朽化のための更新。
がん治療者に対する「医療用ウィッグ」の助成に補正予算を計上しているものです。

新旧交替、今後の予定は

神崎議員

問 新しいサン・ファン号の保管場所はどこを考えていますか。また、これまで活躍したサン・ファン号は、今後どのように考えていますか。

地域振興課長

答 新たな船の保管場所は、役場裏の車庫を考えています。これまでのサン・ファン号は個人所有のため、所有者の判断に委ねることとなります。なお、来年は第25回という節目に当たることから、新旧の2台の船を使って町内パレードを行い、感謝をしながら、まつりを盛り上げていきたいと思っています。

サン・ファン号建造360万円



医療用ウィッグ助成30万円

～がんで治療をしている方のために～
医療用ウィッグ、乳房補正具購入費用を

がん患者の治療と試みや社会参加を促進し、療養生活の質を向上し、がんの治療に伴う外見の悩みや経済的負担を軽減するため、助成を行います。

対象となる方・・・次の要件を満たす方

- 1 川崎市に住所のある方
- 2 がんと診断され、その治療を行っている方

助成の対象となるもの及び金額

対象補正具	助成上限額
医療用ウィッグ（かつら）	30,000円
乳房補正具（布）	20,000円
乳房補正具（乳）	20,000円

※申請要領

- 1 川崎市医療用ウィッグ・補正具購入補助金申請書（様式第1号）
- 2 補正具の購入に係る領収書等の写し
- 3 がん治療証明書（様式第2号）
- 4 その他 審査に必要と認められるもの

※1、3の様式は保健福祉課で配布します。

北川原山町営住宅（残3棟分）建設工事請負契約締結

契約相手方 川崎町大字前川字中原4番地
柴田土建（株）代表取締役 佐山修一
落札率 89.3%

契約金額1億152万円



取得金額1292万円

■財産取得

取得後20年以上経過の消防ポンプ更新
今後は年2台程度を計画的に更新予定

取得物件 消防用小型動力ポンプ 8台
契約相手方 仙台市若林区2丁目8番6号
トーハツ県南サービス（株）

代表取締役 平間 順

■陳情

「全国森林環境税の創設に関する意見書」

所管の
委員会に付託

産業建設教育委員会

平成29年度陳情第3号

委員会意見（要約）

山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や、安定した雇用の場の確保は、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながる。

森林整備に必要な財源を充てるため、個人住民税活用を含め、都市・地方を通じて国民に等しく負担を求める「森林環境税の創設に関する意見書」を提出する。

採択すべきと判断

議発案

採択（全員一致）

有害鳥獣対策助成金

600万円追加補正

■提案理由

近年増加しているイノシシなどの鳥獣被害防止の対策として、電気柵の設置申請が増えることが予測されるため計上しているものです。



▲農作物を守る電気柵

森林保全と温暖化抑制のため

「全国森林環境税」の創設に関する意見書

我が国の地球温暖化対策については、2020年度及び2020年以降の温室効果ガス削減目標が国際的に約束されているが、その達成のためには、とりわけ森林吸収源対策の推進が不可欠となっている。

山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や安定した雇用の場の確保などの取り組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の安全や地方創生等にもつながるものであり、そのための市町村の財源の強化は喫緊の課題である。

よって左記の制度創設について実現を強く求めるものである。

記

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年9月22日

宮城県川崎町議会

提出先

内閣総理大臣殿、財務大臣殿、総務大臣殿、農林水産大臣殿、環境大臣殿、経済産業大臣殿、衆議院議長殿、参議院議長殿

将来に向けた議論開始！

3月17日設置
4月25日調査開始

定数等調査特別委員会

「議員定数等調査特別委員会」は、川崎町議会にふさわしい議員定数等について調査研究することを目的として、3月に議長を除く議員全員で設置されました。委員長に遠藤美津子委員、副委員長に眞幡善次委員を選任しました。

9月29日の審議では、あらかじめ全委員の意識調査をし、今後の検討資料として提出することにしました。その結果を次のとおり報告します。

意識調査集計

定数は？

現状維持	4人
2人減	6人
1人削減	2人
増加	1人

報酬は？

現状維持	7人
増額	4人
その他	2人

視察は？

必要	6人
不必要	7人

スケジュール

H29・12月会議
中間報告
H30・1～10月
調査・審議
H30・11月
委員会表決
H30・12月会議
委員会報告

現状維持

町中心部から離れた地区の声が届かなくなっていると思います。

2人削減

人口減少を見過すことはできません。しかし広域なため、2人削減が限界です。

増加

多様な考えを反映させるためです。

現状維持

増額は町財政や町民感情から困難と判断します。

増額

若年層が町政に参画しやすい環境にするためです。

必要

当町と似た環境にある自治体へ、定数削減への理由とスケジュールを確認したいと思います。

不必要

有識者の見解意見を伺う機会があればと思います。

町民の意見を聴くために

議会議員活動公開の仕方の課題解消や、町民の理解を得ることが重要と考えます。議会報告会・意見交換会での理解を得ながら、広報紙などで公開することが不可欠です。

議会に求められるもの

議員の質の向上と政策能力を高めながら、その活動の姿勢を見せることが必要です。施策が町民の求めるものとなっているか、監視しながら将来の町を創造していくことが責務です。

読んでもらえる広報を目指し

9月28日、東京都のシェーンバツハ・サポーにて、全国町村議会広報研修会を受講しました。

各委員から議長あてに報告書が提出されていますので、その一部を紹介します。

わかりやすい文の書き方

高橋 義則 委員

文章は結論を先に書くことにより、理解しやすくなります。

また、プレゼンテーション技法には、次の点があります。

①番号をつけ、箇条書きにする

②段落を分け、見出しを付ける

③主張・内容を先に述べる

以上を基本に書く内容を組み立てて、読む

読みやすい文章を

沼田 長一 委員

読んでもらえない記事の例や、読みやすい文の書き方等を具体的に挙げての講義だったので理解できました。

例えば、

●中学校卒業レベルの日本語を使う

●漢字は常用漢字を使う。また使用率は45%以内

●文の長さは65文字以内とする等

今まで気にせず文章を作成していたが、今後、今回学んだことを念頭に置き、文章作成をしていきます。

若者が興味を示す紙面づくり

佐藤 昭光 委員

連載や座談会など独自企画の掲載。さらにホームページの掲載など、パソコン・スマホ活用にも積極的に取り組んでいる事例報告がありました。

広報紙は高齢者によく読まれる傾向があるので、今後、子育て世代や、若者をターゲットにした紙面づくりに力を入れていきたいと思っています。

紙面構成が大切

大沼 大名 委員

議会広報編集は、文章力、編集力、企画力、デザイン力など、さまざまな力量の向上が求められています。自分自身が、いかに

ビジュアルな紙面づくりの提案ができるかが問われていると感じさせられた研修会となりました。

伝える・伝わる

眞幡 善次 委員

町民にわかりやすく、読んでいただける広報、すなわち「伝える広報」から「伝わる広報」にするためには、どのような方法で広報紙を作成するかについて研修しました。

広報紙は、町政の重要な情報を、議会独自の視点から常に町民に対して伝わるカタチに示なくてはなりません。今回の研修を活かし、親しみある紙面づくりに心掛けていきたいと思っています。



総務民生委員会 報告

調査日 8月22日

川崎病院の運営状況

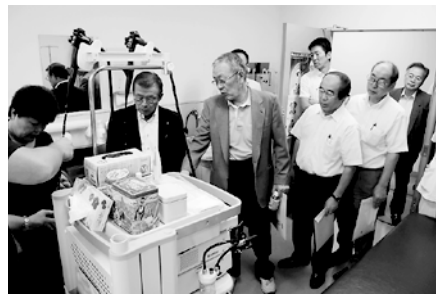
経営改善、労働環境整備へ努力

【調査結果概要】

診療科目は内科をはじめ計7科目で、病床数は一般30床・療養28床の合計58床です。医療体制は医師・技師・看護師などのスタッフ

計102人、経営状況は、病床稼働数（入院患者数）と外来診療単価が増加傾向となっています。

け入れ案内・要請の結果、町外からの患者が増加しています。今後は、この業務の拡充強化と健診事業との連携強化をはかり、総合病院としての使命を維持しながら、利用者から



▲医療機器視察

信頼される病院を目指しています。

【委員会意見】

入院患者数の大半は町民ですが、「地域医療連携業務」の「顔の見える営業活動」で、町外在住の患者が増加しています。今後も積極的に活動してください。

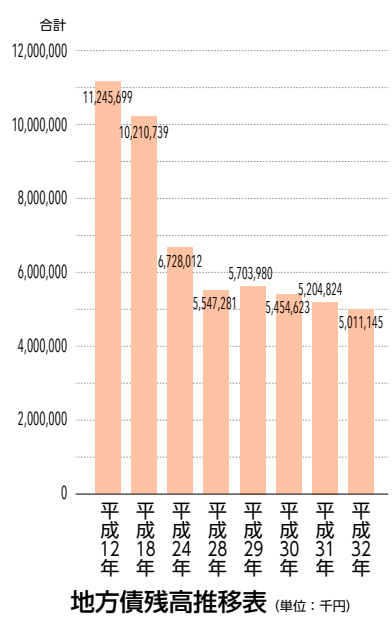
業の連携共有で機能強化を図ってください。看護師不足による労働環境が悪化することのないように確保策も含め、早期に対応してください。また、外来予約患者の待ち時間対応は改善をお願いします。

地方債の推移と計画 事業精査と対象交付事業活用を

【調査結果概要】

地方債は平成28年度決算で約55億5000万円となっており、ピーク時（12～16年度）と比較すると約半分になっています。平成18年度からは、年2億2

000万円以内の発行額とし現在高の抑制をしてきました。今後も2億2000万円の制限を維持しますが、臨時発行分として辺地債と公営住宅債・防災減災対策債を追加する計画です。ま



た、特別会計に年8200万円の発行額を見込んでいます。

【委員会意見】

一般会計は臨時発行で増加を見込み、特別会計は減少する見込みで、全会計では平成32年度まで減少傾向となる計画ですが、今後も辺地債や各事業債に交付税措置される国庫補助対象事業を有効に活用してください。

地方財政措置が手厚い状況となっていますが、引き続き不要不急の事業精査に重点をおいた財政運営をしてください。

産業建設教育委員会 報告

調査日 8月23日

町営北川原山住宅 移転計画とルールの厳守徹底

【調査結果概要】

現在、町が管理している公営住宅は、中原20戸・伊勢原42戸・北原62戸・青根厚生6戸・北川原山16戸の6団地154戸です。

北川原山住宅は8棟完成しており、本年度中に残りの3棟が完成する計画です。平成29年度中の北川原山住宅への移転予定は16世帯（中原住宅から11世帯、伊勢原住宅

から5世帯）。平成30年4月ごろに移転予定の6世帯（伊勢原住宅から）が加わると、合計22世帯の団地となります。



▲完成した北川原山住宅

【委員会意見】

移転に際しては、多量の引越越しゴミが発生すると見込まれます。今後の移転計画に盛り込むことを検討してください。

また、移転者に対しては、分別や決められた集積所でのゴミ出しのルールを守るよう指導を徹底してください。なお、今後の建設戸数は、入居者が一般住宅などへ転居される場合もあるので、実状に応じて計画を見直すなど検討してください。

不登校の状況 問題解決に向け 状況分析と継続的な指導で

【調査結果概要】

最新の都道府県別調査結果（平成27年度）で宮城県は、1000人当たりの不登校児童生徒数は15.4人で、全国平均12.6人を上回りワースト2位に

なっています。

当町における不登校児童生徒数（30日以上欠席）は、平成29年3月末で全児童生徒数580人中12人であり、不登校の割合は全国平均より高く、課題となっています。



▲求められる誠意ある対応

【委員会意見】

不登校の原因は複数の要因が重なっている。当町では、きょうだいで不登校となっている事例があることから、家庭の事情による要因も考えられます。

このことから、児童生徒一人ひとりの状況を分析し、家庭との連携を図り、先生とスクールソーシャルワーカーなどの専門家による、個別の問題解決や継続的な指導に取り組んでください。また、初期段階での支援により「不登校を生まない学校づくり」を目標に積極的な対応をお願いします。

7月会議



8月会議

7月会議は7月6日、条例改正案件1件、8月会議は8月7日指定管理者の指定案件1件が町から提案され、審議の結果、すべて原案どおり可決しました。

夏場対策に向けて 提案理由

サマーゲレンデが完成するまでの1年間に限り、継続的なスキー場運営という観点から現在の指定管理者を指名したいと考えています。このことから現行条例の指定期間「3年」を「3年以内」にするものです。



通年利用に期待

■提案理由

8月31日期間満了に伴い新たな指定管理者を指定したいので、議会の議決を求めるものです。

対象施設 みやぎ蔵王セントメリースキー場
指定管理者

所在 柴田郡川崎町大字今宿字猪ノ沢3番地の10
商号 株式会社 ゆらいず
代表者 代表取締役 鈴木 章弘
指定期間 平成29年9月1日から
平成30年8月31日まで（1年間）

沼田議員

問 500万円融資しましたが返済状況は、地域振興課長

答 8月15日返済予定です。（返済済み）

石野議員

問 選定委員会報告で、「運営資金の確保の点で苦慮することもあり得る。また、町に対し、弾力的な支援が必要」とありますが、考えは、町長

答 選定委員会では、これまでの雪不足から、弾力的な財政支援が必要との思いで答申されました。今年度施設整備することから、管理料なども含め検討します。

視察受け入れ

当町議会広報紙「かわさき議会の情報」の編集・発行を視察研修するために来町されました。また、よりよい議会広報紙づくりや議会活性化のために、活発な意見交換が行われました。

6月27日 福島県古殿町議会 様

7月12日 石川県内灘町議会 様

7月13日 岩手県岩手町議会 様

8月1日 新潟県胎内市議会 様



今から なじぶする？

マラソン大会を応援して



さ え き たもつ
佐伯 保さん
(支倉台)

9月10日、晴天の秋空の下、第1回レイクサイドマラソンが開催されました。町長の英断と大会関係者の努力により、町にとっても、参加者にとっても、実のある素晴らしい大会になったものと思います。この成果を来年に引き継ぐため、さらに改善を加え、大会そのものが成長できるようにしなければいいと思います。そこで大学生や社会人チームを呼んだり、ブラスバンドや鼓笛隊による演奏や、屋台出店等により、お祭り



▲完走目指して！多くの声援を受けながら

しての雰囲気盛り上げ、ランナーも応援者も共に楽しめるようにすることも大切だと思います。自然豊かで大好きな川崎町がマラソン大会により全国に認知され、交流人口が増え発展することを期待しています。

頼もしい仲間たちとともに！



おおみや みつひろ
大宮 秀浩さん
(前川東部)

前川小学校のPTA会長になってから、今年で2年目となりました。多くの方々の協力のおかげで、楽しく活動させていただいています。今年、川崎町小中高PTA連絡協議会の事務局を担当することになりました。去年と比べるとやる事が多くなっただけに感じます。PTA本部役員と父兄の皆さん、校長先生をはじめとする先生方、地域の皆さん、そして各学校のPTA会長の先輩方、とても優しい方々ばかりで、幸せを感じながら活動しています。

私はこれまで「PTA活動を楽にする」ことを大切にしてきました。最低限の力で楽しく活動することです。頼もしい仲間たちと一緒に、残り半年間を頑張りたいと思います。



▲地区全体での運動会

お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか、また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は12月5日(火)
一般質問は12月6日(水)・7日(木)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は8月会議4人、9月会議17人、
ライブ中継は68アクセスでした。)

詳しくは、
議会事務局まで

TEL (0224) 84-2111
(内線1302)

私たちと意見交換を してみませんか

議会では、広く町民と意見を交換する機会を設けています。

希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。



町の風景

ゴールは次へのスタート



撮影 コラボレーター藤原義信さん

町民の方々の、町や議会に対するご意見ご要望大募集!!

表紙の説明「稲穂のじゅうたんで」
川崎小4年生 総合学習の稲刈り

撮影 コラボレーター佐々木和人さん



発行 川崎町議会 編集 議会広聴・広報委員会
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1
TEL (0224) 84-2111・FAX 84-6789
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp
印刷 株式会社津田印刷